

要請番号 (NJ30924A21)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブラジル	G123 ソフトボール		日系	交替 3代目	2年	・ 2025/1 ・ 2025/2



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

アチバイア日伯文化体育協会

2) 配属機関名 (日本語)

アチバイア日伯文化体育協会
日系社会

3) 任地 (サンパウロ州アチバイア市) JICA事務所の所在地 (サンパウロ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

アチバイア市はサンパウロ市から約60km北に位置する人口約14万人の都市である。配属機関は、会員間の親睦、地域コミュニティへの福祉的支援、日本文化継承を主な目的とし、1952年に設立された。特に、野球、ソフトボール、卓球、パークゴルフなどのスポーツ活動や日本語教育、和太鼓、書道、茶道などの文化活動が盛んである。スポーツ活動においては、グラウンドの使用や資金援助など市からの支援も受けている。現在の会員数は約120家族、350人、年間予算は約5万4千ドルである。過去に日本語教育、野球、ソフトボール職種のJICA海外協力隊員計12名の派遣実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ブラジルにおけるソフトボールの歴史は日系移民が中心となり築き上げてきたが、ブラジルソフトボール界全体の現状として、生活様式の変化、日本への出稼ぎによる人材流出、日系子弟の日本文化離れ等により競技者は減少傾向にある。配属機関は、最新の理論に基づき実際にプレーで手本を示しながら指導ができる人材を獲得し、ソフトボール活動を維持・発展させたいと考えており本要請に至った。2020年3月まで現地で活動していた2代目の隊員からの活動を継続し、更に発展させる事が求められている。日本文化継承、青少年健全育成の観点から、技術的指導以外に規律や礼儀等の道徳的指導も期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属機関同僚と共に、以下の活動を行う。

- 主に7-19歳の少女へのソフトボール指導(火 - 金18-20時、土日8-17時)
- 現地指導者への指導法等に関する助言や提案
- 大会へ参加するチームの引率、指導
- ソフトボール以外の配属機関主催イベント(運動会・盆踊り等)への参加、協力

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

球場、多目的グラウンド、雨天練習場、道具一式(ボール、グローブ、バット等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・配属先同僚:カウンターパート(マネージャー40歳代日系女性)、ソフトボール部長(50歳日系男性)、現地指導者3名(50-60歳代日系男性2名、30歳代日系女性1名、指導経験2-20年)
- ・活動対象者:少女約50名(10歳以下20名、10-19歳30名、初心者-中級レベル)

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]: ()

[学歴]: () 備考:

[性別]: (女性) 備考: 活動対象者全員が女性のため

[経験]: (競技経験) 5年以上 備考: 技術指導が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (西岸海洋性気候) 気温: (5~35℃位) [電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可) [水道]: (安定)

【特記事項】